

★★R3年度 Can-Do リスト形式の到達目標★★

小中高をつなぐ言語活動	理由をつけて気持ちや意見を言う⇒ディベート Show and Tell / Speech /Reaction「よい聞き手」を育てる) Small talk (ALTやJTEのオーセンディックな話を聞かせる)
-------------	---

小中高をつなぐ共通話題	地域紹介(郷土の食・場所・人・文化を発信) 将来の夢/環境/道案内
-------------	--------------------------------------

南国市立香南中学校ブロック

	小1年(活動35時間)	小2年(活動35時間)	小3年(教科35時間)	小4年(教科35時間)	小5年(教科70時間)	小6年(教科70時間)	中1年	中2年	中3年	
聞くこと	ア) ゆっくりはっきり話される自分のことや身の周りの物を表す簡単な語句を聞き取っている。 イ) ゆっくりはっきりと話される身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かっている。 ウ) 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかわかっている。	ア) ゆっくりはっきり話された際に、自分のことや身の周りの物を表す簡単な語句を聞き取っている。 イ) ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かっている。 ウ) 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかわかっている。	ア) ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句を聞き取ることができる。 イ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、写真、ジェスチャー、キーワードを手掛かりに具体的な情報を聞き取ることができる。 ウ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、写真、ジェスチャー、キーワードを手掛かりに短い話の概要を捉えることができる。	ア) ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句を聞き取ることができる。 イ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、写真、ジェスチャー、キーワードを手掛かりに具体的な情報を聞き取ることができる。 ウ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、写真、ジェスチャー、キーワードを手掛かりに短い話の概要を捉えることができる。	ア) ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 イ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、写真、ジェスチャー、キーワードを手掛かりに具体的な情報を聞き取ることができる。 ウ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、写真、ジェスチャー、キーワードを手掛かりに短い話の概要を捉えることができる。	ア) ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 イ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、写真、ジェスチャー、キーワードを手掛かりに具体的な情報を聞き取ることができる。 ウ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。 ◆英語独特の発音を聞き取ることができる。	ア) ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 イ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、写真、ジェスチャー、キーワードを手掛かりに具体的な情報を聞き取ることができる。 ウ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	ア) ゆっくりはっきりと話されれば、予備知識のある日常の話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 イ) ゆっくりはっきりと話されれば、予備知識のある日常の話題について、話の概要を捉えることができる。 ウ) ゆっくりはっきりと話されれば、予備知識のある社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	ア) ゆっくりはっきりと話されれば、予備知識のある日常の話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 イ) ゆっくりはっきりと話されれば、予備知識のある日常の話題について、話の概要を捉えることができる。 ウ) ゆっくりはっきりと話されれば、予備知識のある社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	ア) ゆっくりはっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 イ) ゆっくりはっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。 ウ) ゆっくりはっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。
		キーワードを繰り返したり、簡単な相づちを打ったりしようとする。		(Unit 2, 5, 6, 8, 11)	(Unit 2, 4, 6)	(Lesson 1, 2, 3, 4, 6, 7, 9, Project 2)	(Lesson 1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, Project 1)	(P1, P2, P4, P11)	(P1, P9, P10)	(P2, P3, PU1, PU5, PU7)
	基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ることができる。【理解したこと⇒話す⇒書く】									
読むこと	アルファベットの大文字を読もうとしている。	アルファベットの大文字を読もうとしている。	ア) 活字で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。 イ) アルファベット読みをする単語を英語らしい発音で読することができる。	ア) アルファベットの音読みができ、文字をつないで3文字程度の単語を音読することができる。 イ) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味がわかる。	ア) 言い慣れた表現であれば、少し長い単語でも、絵を参考にして音読することができる。 イ) 言い慣れた表現であれば、あとに慣れて読みやすくなる。	ア) 言い慣れた表現であれば、簡単な自己紹介文などを音読することができる。 イ) 身近で簡単な事柄について、言い慣れた表現で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。	ア) 日常の話題について、既習の語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 イ) 日常の話題について、既習の語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。 ウ) メモや伝言など、既習の語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。 ◆200語程度	ア) 日常の話題について、既習の語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。 イ) 日常の話題について、既習の語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。 ウ) パンフレットや告知など、既習の語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。 ◆1分間で80語程度の英文を読み、概要をとらえることができる。 ◆300語	ア) 日常の話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 イ) 日常の話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。 ウ) 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。 ◆1分間で80語以上の英文を読み、概要をとらえることができる。 ◆400語	
			(Unit 7)	(Unit 7)	(Lesson 5, 7, 8)	(Lesson 5, 10)	(P8, P11)	(P2, P4, P7, P8, P12)	(P3, P4, P5, P8, P9, ExR)	
	チャンクごとに意味をとらえることができる。段落ごとに概要をとらえ、読み取ることができる。									
話すこと(やり取り)	ア) 基本的な表現を用いて、挨拶、感謝、簡単な指示をし、それに応じたりしている。 イ) 自分のことや身の回りのものについて、動作を伝えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。 ウ) サポートを受けて、自分や相手の事及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりしている。	ア) 基本的な表現を用いて、挨拶、感謝、簡単な指示をし、それに応じたりしている。 イ) 自分のことや身の回りのものについて、動作を伝えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。 ウ) サポートを受けて、自分や相手の事及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりしている。	ア) 基本的な表現を用いて、挨拶、感謝、簡単な指示をし、それに応じたりすることができる。 イ) 自分のことや身の回りのものについて、動作を伝えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。 ウ) サポートを受けて、自分や相手の事及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりしている。 ◆決められたフレーズを用いて1往復の問答	ア) 基本的な表現を用いて、挨拶、感謝、簡単な指示をし、それに応じたりすることができる。 イ) 自分のことや身の回りのものについて、動作を伝えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。 ウ) サポートを受けて、自分や相手の事及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりしている。 ◆決められたフレーズを用いて1往復の問答	ア) 基本的な表現を用いて、挨拶、依頼をし、それに応じたりすることができる。 イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。 ウ) 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりしている。 ◆2往復以上の問答	ア) 基本的な表現を用いて、挨拶、依頼をし、それに応じたりすることができる。 イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。 ウ) 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりしている。 ◆2往復以上の問答	ア) 関心のある事柄について、既習の語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 イ) 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 ウ) 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 ◆ペアで、指定されたテーマについて数往復の対話ができる。	ア) 関心のある事柄について、既習の語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 イ) 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習の語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 ウ) 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 ◆ペアで、指定されたテーマについて数往復の対話ができる。	ア) 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 イ) 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 ウ) 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 ◆1分程度の対話が可能。	
			(Unit 1, 3, 4, 10)	(Unit 1, 3, 5, 8, 9, 10, 12, 13, 14)	(Lesson 2, 4, Project 1)	(Lesson 1, 3, 8)	(P2, P4, P5, P7, P10)	(P3, P10)	(P2, MP7, PU1, SP, PU2, PU4)	
	つなぎ言葉を用いて話を続けることができる。									
	つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けることができる。必要に応じて聞き返したり、意味を確認したりすることができる。【話しあったこと⇒書く】									
話すこと(発表)	ア) 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。 イ) 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。 ウ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。	ア) 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。 イ) 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。 ウ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。	ア) 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。 イ) 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。(2文程度) ウ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。	ア) 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。 イ) 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。(3文程度) ウ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。	ア) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。 イ) 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。(4文程度) ウ) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。	ア) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。 イ) 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。(6文程度) ウ) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話することができる。(8文程度)	ア) 関心のある事柄について、既習の語句や文を用いて即興で話すことができる。 イ) 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。(8文程度) ウ) 予備知識のあるテーマに関する記事や資料などの概要を説明することができる。	ア) 関心のある事柄について、既習の語句や文を用いて即興で話すことができる。 イ) 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。(10文程度) ウ) 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	ア) 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 イ) 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。(100語程度) ウ) 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	
			(Unit 1, 3, 4, 10)	(Unit 1, 3, 5, 8, 9, 10, 12, 13, 14)	(Lesson 1, 3, 5, 6, 8, 9)	(Lesson 2, 4, 6, 7)	(P1, P6, P9 "My Project")	(P1, P5, P6, P8, P9, P11)	(P1, P3, P6, P7, P8)	
	基本的な音声をとらえ、聞いたままに発音することができる。									
書くこと	ア) 大文字と小文字を区別して、写し書きすることができる。 イ) 自分のことや身近で簡単な事柄について、フレーズの中で、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を選んで写し書きしながら書くことができる。	ア) アルファベット読みをする単語を書くことができる。 イ) 自分のことや身近で簡単な事柄について、フレーズの中で、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を選んで写し書きしながら書くことができる。	ア) 大文字、小文字を区別して、写し書きすることができる。 イ) 自分のことや身近で簡単な事柄について、フレーズの中で、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を選んで写し書きしながら書くことができる。	ア) アルファベット読みをする単語を書くことができる。 イ) 自分のことや身近で簡単な事柄について、フレーズの中で、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を選んで写し書きしながら書くことができる。	ア) 大文字、小文字を区別して、写し書きすることができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。 イ) 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を選んで写し書きしながら書くことができる。	ア) 3文字程度の単語を書くことができる。書くことができる。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。 イ) 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を選んで写し書きしながら書くことができる。	ア) 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 イ) 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。(50語程度) ウ) 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	ア) 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 イ) 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。(100語程度) ウ) 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	ア) 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 イ) 日常の話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。(100語程度) ウ) 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	
			(Unit 9)	(Unit 7, 11)	(Lesson 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9)	(Lesson 1, 2, 3, 4, 5, 6, 8)	(P3, P6, P7, P8, P10 "My Project")	(P2, P4, P5, P6, P7, P12)	(P1, P4, P5, P6, P7, P8, P9, SP, PU3, PU6)	
	アルファベットの大文字を写し書きすることができる。		アルファベットの大文字を正しく書くこと アルファベットの小文字を写し書きすることができる。	アルファベットの小文字を正しく書くこと アルファベットの小文字を写し書きすることができる。	アルファベットの小文字を正しく書くこと アルファベットの小文字を写し書きすることができる。	アルファベットの大文字、小文字を書き分けることができる。	文字や符号を識別し、語と語のつながりや区切りなどに注意して、正しく書くことができる。文と文のつながりや段落構成などに注意して、文章を書くことができる。			